

412支保工を起因物とする死傷災害100事例まで（2019年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	小業種	労働者規模
1	2019	2	14～15	増築工事で、型枠を解体している上部でペンを落とし取るため型枠へ足を乗せたところ、型枠材と一緒に下のコンクリート面に落下し腰骨圧迫骨折した。	27	1	30201	30～49
2	2019	4	8～9	3階共用廊下でR階スラブ型枠解体中、サポートのピンを外してサポートを外そうとした。しかし、番線に引っ掛かるため、6尺脚立に乗り外部足場のブレスを左手で掴み、右手で番線カッターにて番線を切断したところ、サポートの上の1m鋼管の片方が落ちて、外部足場のブレスと鋼管に左手小指が挟まれ骨折した。	42	7	30201	1～9
3	2019	5	17～18	建築工事現場で型枠を点検するために、壁型枠に足を掛けて、上りながら点検していて、落下し、足の踵を骨折した。	35	1	30201	1～9
4	2019	5	9～10	基礎コンクリート打設作業のコンクリート均しを終え、高さ1.2mの型枠上から、後ろ向きに、鋼管バタ角の上に下りようとしたが、バタ角が移動していて、足が届かず、転倒し、右第1腰椎横突起骨折を負った。	71	1	30201	1～9
5	2019	5	8～9	コンクリート製品を型枠から抜き取ろうと準備をして、エアーでコンクリート表面のカスをブローしていたところ、型枠が開いて右足先を挟み右第1中足骨を折った。	41	4	10901	10～29
6	2019	5	14～	コンクリート製品製作ハウス内にて、型枠の組み立て作業中、型枠の上（地上より2約2.5m）に上がり、レバーの操作をする際、落下し、	52	1	10901	10～

			15	頸椎を負傷した。					29
7	2019	6	13 ～ 14	作業場で鋼製型枠の組み立て作業をしているとき、型枠側板を開けた際、ストッパーが壊れたため止まらず、開けた勢いのまま足の上に倒れ、右足中指を骨折した。	44	4	10901	—	
8	2019	7	15 ～ 16	両手で大型バールを持って解体作業をしていたら、解体した型枠が足下に落下してきた。落下してきた型枠に65mmの釘が付いていて、右足甲に刺さり、負傷した。	34	4	30201	50 ～ 99	
9	2019	7	10 ～ 11	5階スラブ上で、4階立ち上がりコンクリート打設中、5階スラブ型枠支保材（ベニヤ板、単管、パイプ、ビーム）が崩壊し、下にいた被災者のヘルメットに型枠材および生コンが当たり、頸髄、全身、頭部を負傷した。	59	5	30201	10 ～ 29	
10	2019	8	9 ～ 10	施設工事現場にて、コンクリート打設作業中、型枠支保工水平つなぎパイプをくぐる際、頭を打ち、頸椎を捻挫した。	48	3	30201	1 ～ 9	
11	2019	10	11 ～ 12	中学校にて、鉄筋コンクリート3階建て型枠孤児中、壁の型枠を建て込む際、仮に立て掛けた型枠（W600×H3400）が風で倒れ、腰に直撃し、負傷した。	21	5	30201	1 ～ 9	

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例まで（2019年）](#)に戻る。